

2023年3月期第2四半期 決算短信補足資料

2022年11月11日

丸大食品株式会社

URL <https://www.marudai.jp/>

◇ 2023年3月期 上期連結業績の総括	P. 2
◇ 2023年3月期 上期セグメント別連結業績	P. 3
◇ 2023年3月期 上期連結財政状態	P. 4
◇ 2023年3月期 上期連結業績のポイント	P. 5
◇ 2023年3月期 上期連結キャッシュ・フロー	P. 6
◇ 2023年3月期 通期連結業績計画	P. 7
◇ 2023年3月期 通期セグメント別連結業績計画	P. 8
◇ 主力商品紹介	P. 9

■売上高■

急激な円安進行も加わり原材料やエネルギーなどの製造コストが上昇するなかで、物価高騰や実質賃金の低下による消費者の節約志向が強まるなど、厳しい環境が続くも、調理加工食品部門や食肉事業が堅調に推移したことなどから、前年同期比1.2%の増収。

■営業利益■

価格改定の実施や合理化によるコスト削減に努めるも、ハム・ソーセージ部門の減収や、価格改定を上回る原材料・エネルギーコストの上昇などから、△754百万円の営業損失。

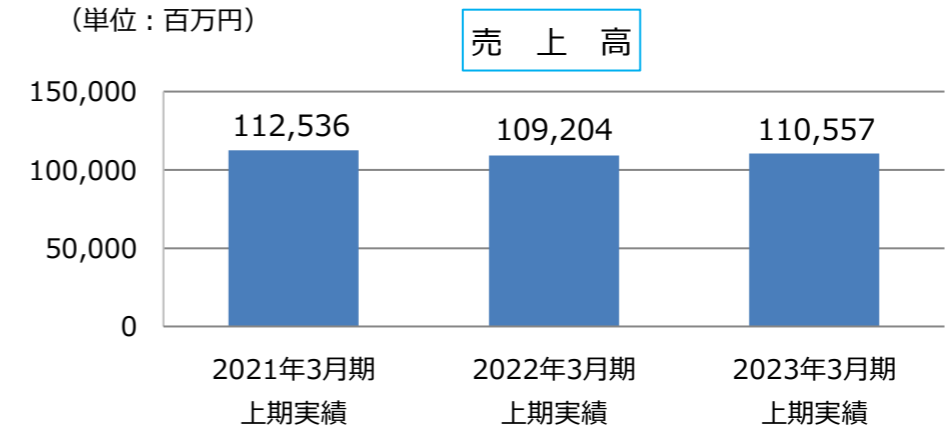
■親会社株主に帰属する四半期純利益■

営業利益が大きく減少したことなどから、△575百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失。

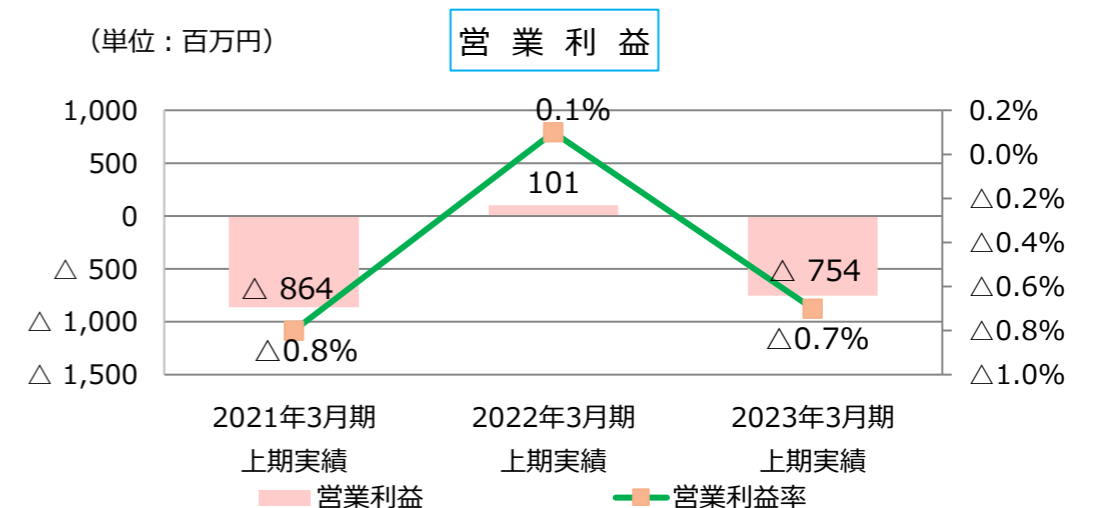
(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期		
	上期実績	上期実績	上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	112,536	109,204	110,557	1,353	1.2%
営業利益 (売上高比率)	△ 864 (△0.8%)	101 (0.1%)	△ 754 (△0.7%)	△ 855 (△0.8%)	- -
経常利益 (売上高比率)	△ 588 (△0.5%)	356 (0.3%)	△ 515 (△0.5%)	△ 872 (△0.8%)	- -
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比率)	247 (0.2%)	98 (0.1%)	△ 575 (△0.5%)	△ 674 (△0.6%)	- -
1株当たり 四半期純利益	9.75円	3.88円	△22.87円	△26.75円	-

(単位：百万円)



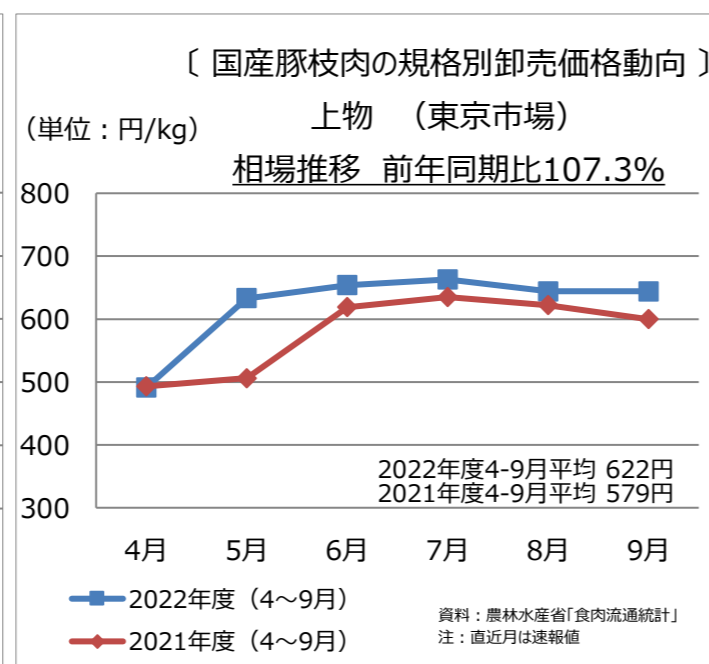
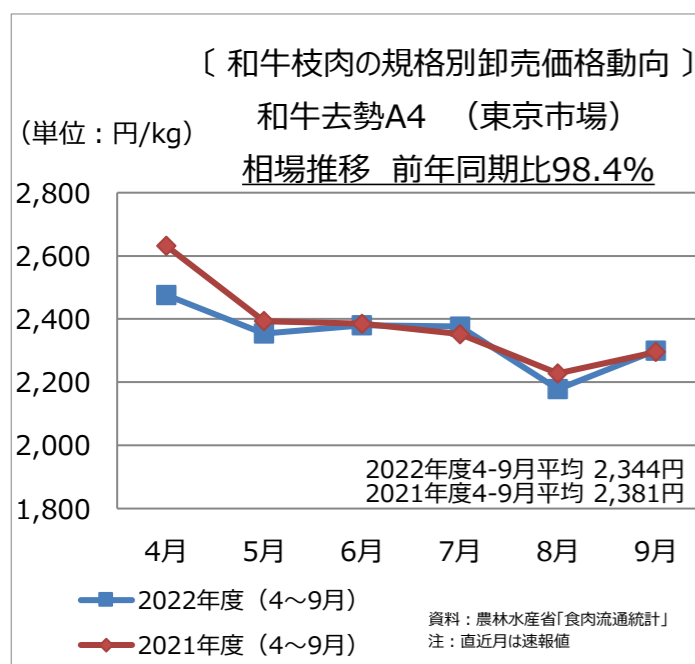
(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2021年3月期 上期実績	2022年3月期 上期実績	2023年3月期		
			上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
加工食品事業	76,626	74,337	73,414	△ 922	△ 1.2%
ハム・ソーセージ	35,594	33,028	31,323	△ 1,705	△ 5.2%
調理加工食品	41,031	41,308	42,091	783	1.9%
食肉事業	35,825	34,783	37,075	2,292	6.6%
その他	84	83	67	△ 16	△ 19.8%
売上高	112,536	109,204	110,557	1,353	1.2%
加工食品事業 (売上高比率)	△ 1,199 (△1.6%)	△ 239 (△0.3%)	△ 767 (△1.0%)	△ 528 (△0.7%)	-
食肉事業 (売上高比率)	297 (0.8%)	308 (0.9%)	△ 6 (△0.0%)	△ 314 (△0.9%)	-
その他	37	33	19	△ 13	△ 40.1%
セグメント利益 (売上高比率)	△ 864 (△0.8%)	101 (0.1%)	△ 754 (△0.7%)	△ 855 (△0.8%)	-

〔資料：枝肉規格別卸売価格動向〕



■加工食品事業■

- 〔ハム・ソーセージ部門〕 前年同期比△5.2%の減収
- 「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」などの主力商品を中心に「はじける夏のジュシーキャンペーン」などの販促活動を実施。
 - 「いつも新鮮」シリーズから、濃厚でコク旨ジュシーな「いつも新鮮特撰あらびきウインナー」や、人気キャラクターを使用した「ちいかわフィッシュソーセージ」などの新商品を投入し売上拡大を図る。
 - 中元ギフトは、「王覇」「煌彩」シリーズをはじめ、国産豚肉を使用した「藻塩MEISTER糖質ゼロ」などを投入し拡販に努める。
 - 価格改定による消費者の節約志向が高まるなかで販売数量が減少。

- 〔調理加工食品部門〕 前年同期比1.9%の増収
- レトルトカレー商品は「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズを中心に、認知度向上に向けた販促活動を実施したことや、「シェフの匠」シリーズからは期間限定で「シェフの匠スパイシーチキンカレー」を発売。
 - 本場の韓国料理を手軽に味わえる韓国料理の素「韓食堂」シリーズや、たんぱく質を手軽に摂れる「高たんぱく糖質0gサラダチキン」シリーズなどの新商品を投入。
 - コンビニエンスストア向け米飯商品や、ホイップ済みクリームの上高が堅調に推移。

【総括】
売上高は、前年同期比△1.2%の減収。
価格改定の実施や合理化によるコスト削減に努めるも、ハム・ソーセージ部門の減収や価格改定を上回る原材料・エネルギーコストの上昇などから、△767百万円のセグメント損失（前年同期は△239百万円の損失）。

■食肉事業■

- 〔牛肉〕 前年同期比増収
- 量販店向け高価格帯国産牛肉の販売が低調に推移。
 - 行動制限緩和などの影響により、外食産業向け販売が前年を大きく上回る。

- 〔豚肉〕 前年同期比増収
- 量販店向け販売単価の上昇。
 - 外食産業向け販売の持ち直し。

- 〔鶏肉〕 前年同期比増収
- 輸入鶏肉の売上拡大に注力したことなどから好調に推移。

【総括】
売上高は、前年同期比6.6%の増収。
急激な円安進行や飼料価格の高騰に伴う仕入価格の大幅な上昇に対して価格転嫁が十分に浸透していないことなどから、△6百万円のセグメント損失（前年同期は308百万円の利益）。

2023年3月期 上期連結財政状態



(単位：百万円)

	2022年3月期		2023年3月期			2022年3月期		2023年3月期	
	第2四半期末	期末	第2四半期末	対前期末増減額		第2四半期末	期末	第2四半期末	対前期末増減額
現金及び預金	8,604	7,990	7,383	△ 607	仕入債務	22,653	20,913	22,954	2,040
売上債権	23,470	23,436	24,044	607	有利子負債	20,173	20,672	23,524	2,852
棚卸資産	17,358	16,873	20,232	3,358	その他	13,347	11,829	11,801	△ 27
その他の資産	2,031	1,511	1,624	113	負債合計	56,173	53,414	58,280	4,865
流動資産合計	51,465	49,813	53,285	3,472	株主資本	70,343	69,868	68,260	△ 1,607
有形固定資産	60,942	60,085	60,186	100	その他の包括利益累計額	5,481	4,962	4,928	△ 34
無形固定資産	2,568	2,267	1,907	△ 359	非支配株主持分	623	658	662	4
投資その他の資産	17,645	16,737	16,752	14	純資産合計	76,448	75,489	73,851	△ 1,637
固定資産合計	81,156	79,090	78,846	△ 244	負債純資産合計	132,622	128,903	132,132	3,228
資産合計	132,622	128,903	132,132	3,228					

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■設備投資・減価償却費の状況■

(単位：百万円)

	2022年3月期		2023年3月期	
	上期	通期	上期	対前年同期増減額
設備投資	4,377	7,374	3,628	△ 748
減価償却費	3,820	7,945	3,767	△ 52

■自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況■

(単位：百万円)

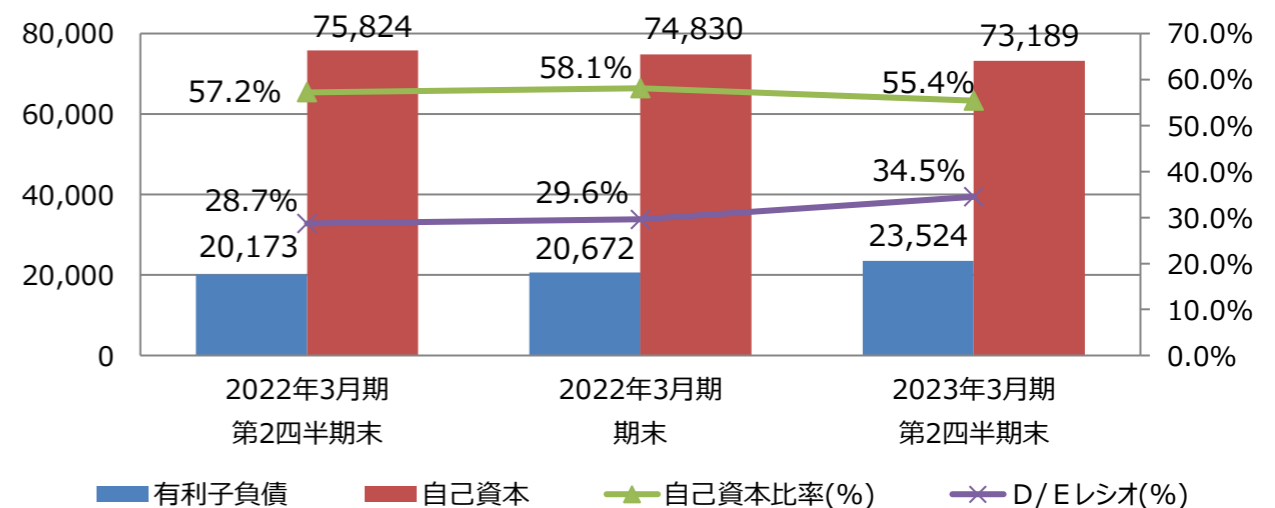
	2022年3月期		2023年3月期	
	第2四半期末	期末	第2四半期末	対前期末増減額
自己資本	75,824	74,830	73,189	△ 1,641
自己資本比率	57.2%	58.1%	55.4%	△ 2.7%
D/Eレシオ	28.7%	29.6%	34.5%	4.9%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

- ◆総資産は、現金及び預金の減少があるも、棚卸資産、売上債権が増加したことなどから、前期末比3,228百万円増加。
- ◆設備投資は、減価償却費を下回る 3,628百万円を実施。
- ◆負債は、有利子負債、仕入債務が増加したことなどから、前期末比4,865百万円増加。
- ◆純資産は、剰余金の配当や親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、自己株式の取得などから、前期末比△1,637百万円減少。
- ◆自己資本比率は、前期末比△2.7%低下、D/Eレシオは、前期末比4.9%上昇。

(単位：百万円)

有利子負債・自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況



2023年3月期 上期連結業績のポイント



(単位：百万円)

	2021年3月期 上期実績	2022年3月期 上期実績	2023年3月期		
			上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	112,536	109,204	110,557	1,353	1.2%
売上総利益 (売上高比率)	16,655 (14.8%)	16,605 (15.2%)	15,193 (13.7%)	△ 1,411 (△1.5%)	△ 8.5% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	17,520 (15.6%)	16,503 (15.1%)	15,947 (14.4%)	△ 556 (△0.7%)	△ 3.4% -
営業利益 (売上高比率)	△ 864 (△0.8%)	101 (0.1%)	△ 754 (△0.7%)	△ 855 (△0.8%)	- -
営業外損益	276	255	238	△ 16	-
営業外収益	477	406	380	△ 26	-
営業外費用	201	151	141	△ 9	-
経常利益 (売上高比率)	△ 588 (△0.5%)	356 (0.3%)	△ 515 (△0.5%)	△ 872 (△0.8%)	- -
特別損益	884	△ 126	△ 91	34	-
特別利益	1,030	129	41	△ 88	-
特別損失	146	255	132	△ 122	-
税金等調整前 四半期純利益	295	230	△ 607	△ 838	-
法人税等合計	18	117	△ 40	△ 157	-
四半期純利益	277	113	△ 567	△ 680	-
非支配株主に帰属する 四半期純利益	29	14	8	△ 6	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	247	98	△ 575	△ 674	-

増 減 要 因

■ 売上総利益 ■

売上高は増収するも、価格改定を上回る原材料・エネルギーコストの上昇などから、売上総利益は、△1,411百万円（前年同期比△8.5%）の減益。
売上高比率は13.7%、前年同期比△1.5%の低下。

■ 販売費及び一般管理費 ■

コスト削減に努め、△556百万円（前年同期比△3.4%）の減少。
売上高比率は14.4%、前年同期比△0.7%の低下。

(単位：百万円)

	2021年3月期 上期実績	2022年3月期 上期実績	2023年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
人件費	5,269	5,035	4,898	△ 137
配送費	6,562	6,186	6,003	△ 183
その他	5,688	5,282	5,046	△ 235
合計	17,520	16,503	15,947	△ 556

■ 営業外損益 ■

(単位：百万円)

	2021年3月期 上期実績	2022年3月期 上期実績	2023年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
受取利息・配当金	163	169	171	2
その他	314	237	209	△ 28
営業外収益計	477	406	380	△ 26
支払利息	118	111	112	0
その他	82	39	28	△ 10
営業外費用計	201	151	141	△ 9

■ 特別損益 ■

(単位：百万円)

	2021年3月期 上期実績	2022年3月期 上期実績	2023年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
固定資産処分益	32	129	41	△ 88
負ののれん発生益	997	-	-	-
特別利益計	1,030	129	41	△ 88
固定資産処分損	104	222	124	△ 98
減損損失	42	9	8	△ 0
投資有価証券評価損	-	24	-	△ 24
特別損失計	146	255	132	△ 122

■ 営業活動によるCF ■

運転資金の増加による減少要因があるも、減価償却費の計上などから、1,136百万円増加。

■ 投資活動によるCF ■

固定資産の売却による収入があるも、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産取得による支出などから、△2,928百万円減少。

■ 財務活動によるCF ■

配当金の支払いや自己株式の取得による支出があるも、有利子負債の増加などから、1,184百万円増加。

(単位：百万円)

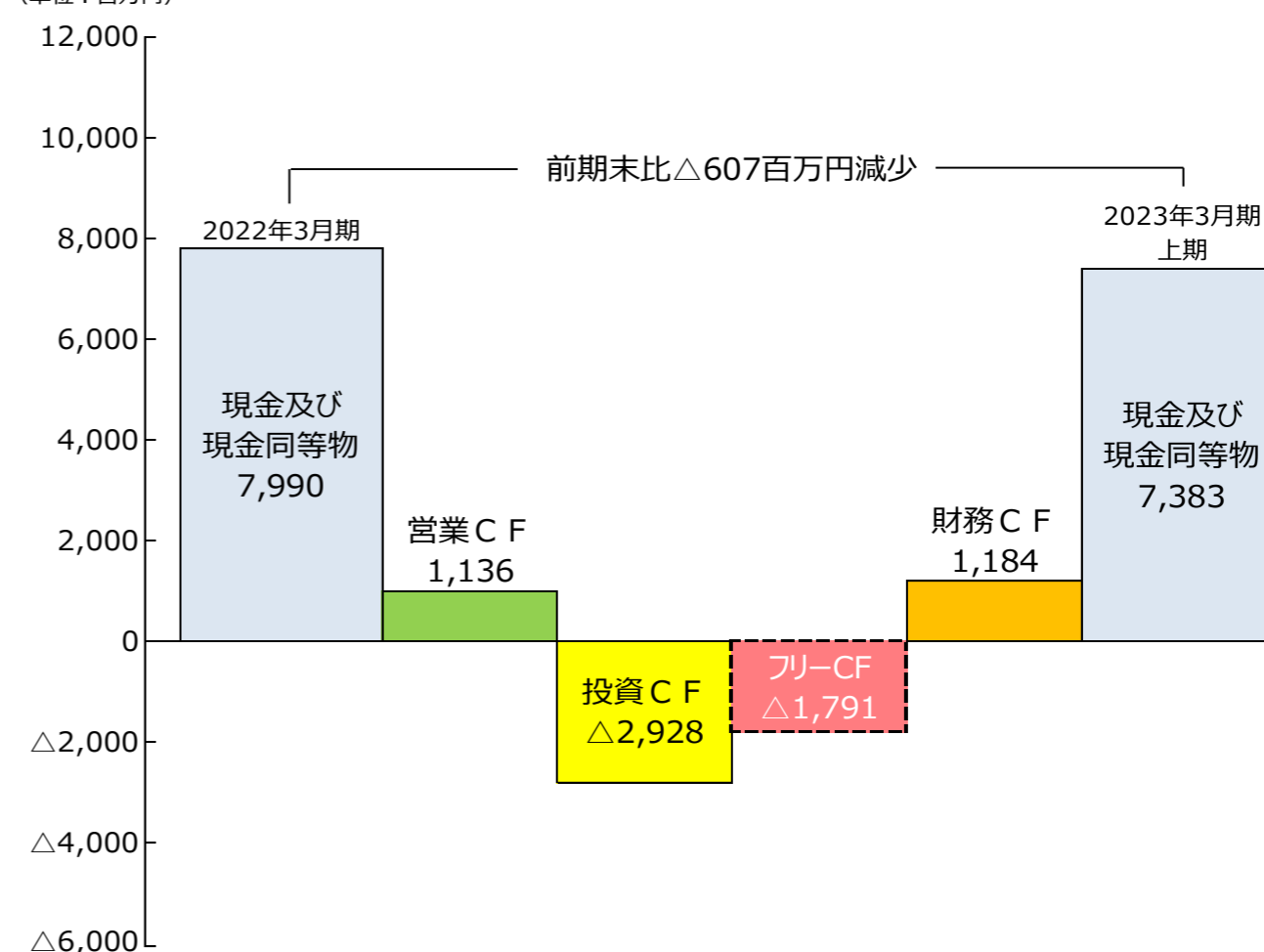
	2022年3月期 上期実績	2023年3月期	
		上期実績	対前期 増減額
営業活動によるCF	4,716	1,136	△ 3,579
投資活動によるCF	△ 2,475	△ 2,928	△ 453
フリー・キャッシュ・フロー ※	2,241	△ 1,791	△ 4,033
財務活動によるCF	△ 2,113	1,184	3,297
現金及び現金同等物の増減額	128	△ 607	-
現金及び現金同等物残高	8,604	7,383	△ 1,221

■ 2023年3月期上期連結キャッシュ・フローの主な内訳 ■

(単位：百万円)

	2022年3月期 上期実績	2023年3月期	
		上期実績	対前期 増減額
◆ 営業活動によるCF ◆			
・税金等調整前四半期純利益	230	△ 607	△ 838
・減価償却費	3,820	3,767	△ 52
・運転資金	1,278	△ 1,891	△ 3,170
・その他	△ 612	△ 131	481
◆ 投資活動によるCF ◆			
・固定資産の取得による支出	△ 2,914	△ 3,012	△ 98
・固定資産の売却による収入	580	153	△ 426
・その他	△ 141	△ 69	71
◆ 財務活動によるCF ◆			
・有利子負債増減	△ 978	2,219	3,198
・配当金の支払額	△ 761	△ 755	6
・その他	△ 372	△ 279	92

(単位：百万円)



※ フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指す。
- ・「新たな顧客価値の創造」「収益構造の改革」「事業領域の拡大」「人財の育成」「持続可能な社会への貢献」の5つの基本方針を掲げ企業活動を推進。

〔2023年3月期下期の当社グループを取り巻く環境〕

- ・行動制限緩和などの影響から外食需要に回復が見られるも、急激な円安進行も加わり原材料価格やエネルギーコストが更なる上昇をするなかで、価格転嫁の遅れなどから採算が悪化し、当第2四半期連結累計期間の連結業績は非常に厳しい状況で推移。
- ・下期は、原材料価格やエネルギーコストの上昇が継続するなかで、合理化などの生産性向上に努めるものの、食料品や日用品など生活必需品の物価上昇から消費者の節約志向が一層高まるなか、製造コスト上昇分に対する価格転嫁の浸透に遅れが懸念されるなど、引き続き厳しい環境が見込まれる。

〔通期業績計画〕

- ・2023年3月期通期連結業績計画は、2022年5月13日に公表の計画を以下のとおり修正。

■通期見通し■

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期			2023年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前期増減額	対前期増減率	通期計画	対前期増減額	対前期増減率
売上高	112,536	110,464	223,000	109,204	109,405	218,610	110,557	111,442	2,036	1.9%	222,000	3,389	1.6%
営業利益 (売上高比率)	△864 (△0.8%)	531 (0.5%)	△333 (△0.1%)	101 (0.1%)	△966 (△0.9%)	△865 (△0.4%)	△754 (△0.7%)	△445 (△0.4%)	521 (0.5%)	-	△1,200 (△0.5%)	△334 (△0.1%)	-
経常利益 (売上高比率)	△588 (△0.5%)	769 (0.7%)	180 (0.1%)	356 (0.3%)	△737 (△0.7%)	△380 (△0.2%)	△515 (△0.5%)	△184 (△0.2%)	552 (0.5%)	-	△700 (△0.3%)	△319 (△0.1%)	-
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比率)	247 (0.2%)	164 (0.1%)	412 (0.2%)	98 (0.1%)	△474 (△0.4%)	△376 (△0.2%)	△575 (△0.5%)	75 (0.1%)	550 (0.5%)	-	△500 (△0.2%)	△123 (0.0%)	-
1株当たり 当期純利益	9.75円	6.48円	16.23円	3.88円	△18.76円	△14.88円	△22.87円	2.94円	21.70円	-	△19.93円	△5.05円	-
1株当たり配当金	-	-	30円	-	-	30円	-	-	-	-	20円	△10円	-

2023年3月期 通期セグメント別連結業績計画

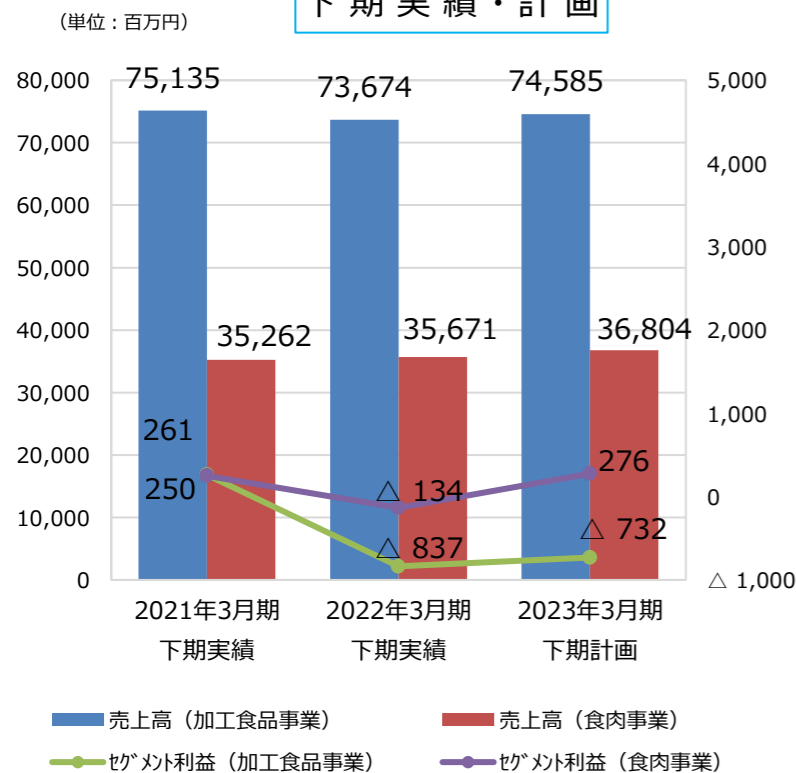


■セグメント別通期見通し■

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期			2023年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前期増減額	対前期増減率	通期計画	対前期増減額	対前期増減率
加工食品事業	76,626	75,135	151,762	74,337	73,674	148,011	73,414	74,585	910	1.2%	148,000	△ 11	△ 0.0%
食肉事業	35,825	35,262	71,087	34,783	35,671	70,455	37,075	36,804	1,132	3.2%	73,880	3,424	4.9%
その他	84	66	150	83	59	143	67	52	△ 6	△ 11.5%	120	△ 23	△ 16.3%
売上高	112,536	110,464	223,000	109,204	109,405	218,610	110,557	111,442	2,036	1.9%	222,000	3,389	1.6%
加工食品事業 (売上高比率)	△ 1,199 (△ 1.6%)	261 (0.3%)	△ 938 (△ 0.6%)	△ 239 (△ 0.3%)	△ 837 (△ 1.1%)	△ 1,076 (△ 0.7%)	△ 767 (△ 1.0%)	△ 732 (△ 1.0%)	104 (0.1%)	-	△ 1,500 (△ 1.0%)	△ 423 (△ 0.3%)	-
食肉事業 (売上高比率)	297 (0.8%)	250 (0.7%)	547 (0.8%)	308 (0.9%)	△ 134 (△ 0.4%)	173 (0.2%)	△ 6 (△ 0.0%)	276 (0.8%)	411 (1.2%)	-	270 (0.4%)	96 (0.2%)	56.0%
その他	37	20	57	33	5	38	19	10	4	94.6%	30	△ 8	△ 21.9%
セグメント利益 (売上高比率)	△ 864 (△ 0.8%)	531 (0.5%)	△ 333 (△ 0.1%)	101 (0.1%)	△ 966 (△ 0.9%)	△ 865 (△ 0.4%)	△ 754 (△ 0.7%)	△ 445 (△ 0.4%)	521 (0.5%)	-	△ 1,200 (△ 0.5%)	△ 334 (△ 0.1%)	-

下期実績・計画



■加工食品事業■

- ・価格改定の徹底と商品開発の強化。
- ・収益基盤の見直しとチャネル別の利益管理。
- ・レトルトカレー、スンドゥブなどのスープ品目販売強化。
- ・工場の合理化と物流コストの削減。

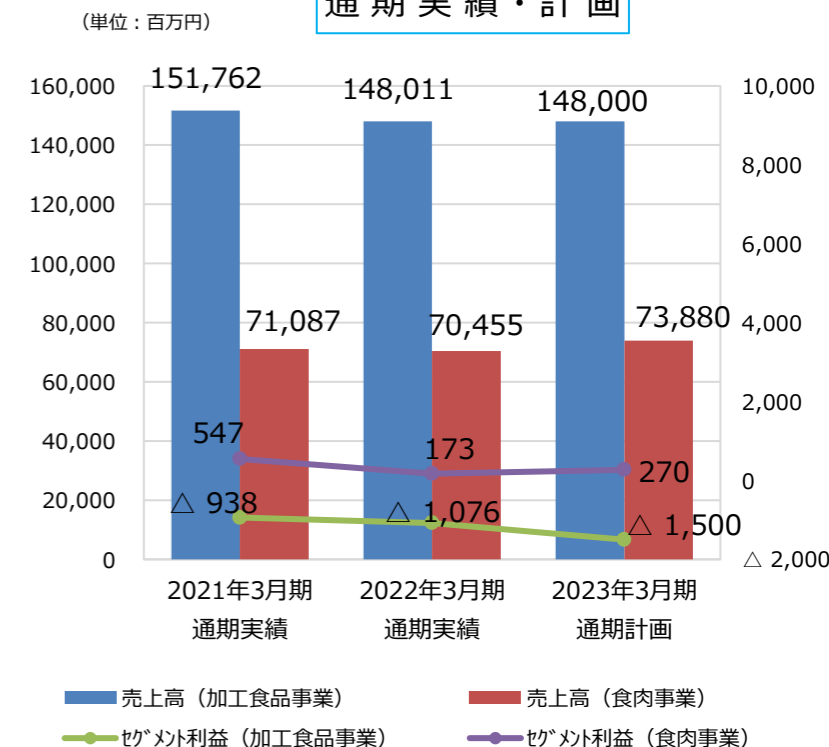
加工食品事業の通期業績は、売上高△11百万円減、セグメント損失△1,500百万円の計画。

■食肉事業■

- ・外食産業向け取組強化。
- ・バリューチェーンの構築によるオリジナルブランド商品の取り扱い強化やコスト削減。
- ・アウトパック、スライス品の食肉加工事業強化。

食肉事業の通期業績は、売上高4.9%増、セグメント利益56.0%増を計画。

通期実績・計画





ハム・ソーセイジ部門
加工食品

丸大食品

燻製屋 & いつも新鮮



©ナガノ/ちいかわ製作委員会



丸大食品

ふんわりうす切り

Ochas × 丸大食品

「食べる幸せ」を伝えるお肉の女子大生が選んだ「Ochas」(オチアス)とコラボした、野菜と一緒に美味しく食べられるコラボレンジ加熱用パッケージで開発予定。

丸大食品

クレイジーバジル あらびきウイナー

パリッとおいしい スモークタイプ | プリッとジューシーな ホワイトタイプ

丸大食品

だしのちからでおいしさそのまま

減塩25%



調理加工食品部門

丸大食品

スンドゥブ

豆腐があればすぐできる

08-21年スンドゥブの最 14年連続売上No.1

3袋タイプ



EMIAL

SWEET CAFE SN

珈琲ゼリー

甘くて苦い、大人のご褒美。

丸大食品

おやつ・おつまみに最適なチキン惣菜

チキンナゲット | マヨチキの | スノーパウダーチキン

TORAKU Kobe Sweets

6×6 ホイップ

marudai 丸大食品

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。